

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市太白区文化センター	
2 指定管理者	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 97,766人(前年度比 129.2%) 令和4年度 75,670人 ※令和4年4月1日から令和4年7月31日までは令和4年3月16日発生の福島県沖地震の影響によりホール利用を休止 令和3年度 56,972人	
	《事業》 ・施設の運営管理 ・自主事業の実施	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 217,335千円 (215,838千円) ・ その他市が負担した費用 140,697千円 (118,013千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 36,179千円 (25,629千円) ・ その他収入 13,522千円 (6,920千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートの実施(令和5年12月1日～令和5年12月25日) ・「ご意見箱」の設置(通年)	

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	鑑賞事業やワークショップ事業及び住民参加型事業などに加え、今後、劇場やホールに求められる事業として「地域貢献型・社会包括型事業」に取り組んでいる。令和5年度は、若林区文化センターとの共催事業を実施。若林区のみならず太白区内の団体も参加することで、区の垣根を超えた団体間の交流を図っている。このほかにも、音楽に関心を持つ入口としてバイオリン体験会を実施し、地域の文化振興に資する取り組みや地域住民の自主的な活動を行うための支援等が行われている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員が日常、定期的に館内を巡回し事故等を未然に防止するよう努め、施設内の不具合箇所を発見した際は防災センターと連携し、速やかに改善作業を実施している。また、併設施設と合同で消防訓練を実施することにより、緊急時の避難誘導に係る連携体制の強化に努めている。さらに、指定管理者の負担により展示ホール内の可動式のスポットライトをLED化することで、利用者のやけど等の事故防止と省エネルギー化を併せて図った。	30/30
III 施設・設備の維持管理	併設施設と協力してごみの減量化に努めるとともに、業者を通して廃プラスチックや古紙のリサイクル処理を行い、ごみの再生利用の推進に努めている。また、昼間の時間帯には、事務室の受付カウンター部分を除いたエリアを消灯し節電にも努めている。さらに、館内に配架しているチラシ等の持ち帰り用に、再利用の封筒をインフォメーションに設置することで、利用者にも環境に配慮した取り組みに間接的に関わってもらっている。	21/21
IV サービスの質の向上	1階エントランスにデジタルサイネージを設置し、文化センターに限らず、併設の市民センター、児童館、図書館の催事情報等を発信。施設全体の利用促進及び回遊性の向上を図った。また施設予約が抽選となった場合の、当選確定した後に使用する予約申込書の記載内容を簡略化するなど、スタッフミーティングにおいて共有された課題の改善も実施している。さらに、図書館閉館日には返却用ブックポストに投函できないDVD等の視聴覚資料を文化センターで預かるなど、併設施設とも連携協力しながら運営している。	28/28
V 施設固有の基準	これまでの施設管理の経験を活かしながら管理規約や関連法令等を把握し、たいはつくる管理組合や併設施設との連絡調整に努めている。また、市民センター利用サークル団体や児童館等の公共施設による展示や情報発信に取り組んだ。	6/6

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>太白区における文化拠点施設として、センターの設置目的を効率的かつ最大限に発揮できるように運営を行いました。また、楽楽楽ホールをはじめ、諸室、設備の維持管理運営を協定書に沿って行い、加えて、全体共用部分を管理している「たいはっくる」及び市民センター、図書館等の併設施設と情報を共有し、連携を密にしながら一体的な運営を行いました。</p> <p>〔施設の使用許可等について〕 条例などの規定を遵守するとともに、市民利用施設予約システムの適正な運用に努め、施設の使用許可にあたっては公平・公正な取り扱いを行いました。また、新たに始まったインボイス制度にも対応しました。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、文化活動の制限がなくなったため、県内外で開催するイベントのチラシをご覧いただけるよう、館内のチラシ置き場を増設しました。またワクチン接種の会場となっていた親子室の一般開放を再開し、長町児童館と協力して小さなお子様連れのお客様に利用していただける環境を作りました。</p> <p>〔施設の維持管理等について〕 お客様に安全かつ快適にご利用いただけるように、日頃から施設の巡回や設備の点検を行い、危険個所の早期発見に努め、不備がある場合は速やかな修繕を行い事故等の未然防止に努めました。また、展示ホールの可動式のライトを、熱を持つハロゲンライトからLEDに交換し、事故防止と省エネルギー化を併せて図りました。</p> <p>〔自主事業の実施について〕 地域の文化芸術の振興を目指し、仙台市出身のプロサクソ奏者と連携して「長町からJazzに触れる・クリニック&コンサート」や、弦楽器の演奏体験と楽曲解説により弦楽四重奏を学ぶ「大人のクラシック入門コンサート」を開催しました。また、来場した誰もが気軽に多様な文化芸術に親しみ楽しめる「楽楽楽文化祭2023～楽しいこといっぱいの日～」を開催しました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p><施設の運営管理について> 当施設は、図書館や中央市民センター、児童館のほか商業施設や高層住宅棟が一体となっている本市唯一の複合施設であり、管理方法が複雑であるほか部屋数及び利用者数が多い。職員会議等において各担当の業務状況や窓口対応状況を互いに共有したり、事故防止策に関する研修を実施、受講したりするなど、適切な運営管理に努めている。</p> <p><施設の維持管理・安全管理について> 業者による見回りや定期点検の他に、職員が日常的な目視点検を実施しており、不具合の早期発見による施設の維持管理に努めている。</p> <p><自主事業について> 鑑賞事業、ワークショップ事業及び住民参加型事業などに加え、「地域貢献型・社会包括型事業」に取り組んでいる。太白区を拠点として活動している団体等と協力し、地域住民のみならず障害者や乳幼児親子など誰もが気軽に多様な文化芸術に親しんで体感することを目的とした自主事業「楽楽楽文化祭2023「楽しいこといっぱい」の日」を開催した。 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、文化活動の制限がなくなったことで、利用者の文化活動が更に活発になるよう、ホームページやYoutube、チラシ、デジタルサイネージ等により積極的な情報発信を行った。</p> <p><併設施設との連携について> 当施設は公共・商業・住宅が一体となった本市唯一の大規模な複合施設であるため、建物に共用設備（受変電や給排水等）が多く含まれている。共有部分や公共施設部分で発生する様々な設備・運営管理に関する問題を「たいはっくる管理組合」と情報共有し、問題解決に向け日常的に協議し、改善に向けた取り組みを行っている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：太白区まちづくり推進部まちづくり推進課